

昭和中学校 地区説明会

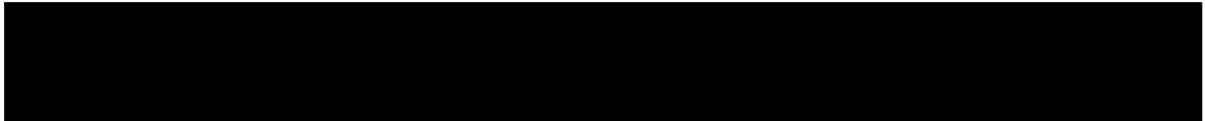
12月2日(土)19:00~

昭和中学校体育館

○開 始 : 19:03 参加者:55名

○あいさつ : 19:04~ 建設委員会委員長(堤村長)

○建設委員 出席者



計 20名(前で説明する3名は除く)

○局長説明 : 19:06~ 次第3(経緯について)

19:12~ 次第4(進捗状況について)

19:20~ 次第5(建設候補地について)

○ご意見・ご要望・質疑応答(概要)

19:20 ~ 20:34

Q.

たくさんの友人たちが来るのが難ということで、いろんな意見を託されて来た。毎日説明会に参加しているのは、不安に感じているから。納得のいく答えが全然得られないと感じている。議員懇談会の時に「白紙ベースで」と言っていたが、今後どうするおつもりか。責任を持った回答をお聞かせください。

A. 委員長(村長)

意見の集約が不十分であったと反省をし、お詫びをしているところ。この場で伺った意見に対して、私の個人的な意見を言えないが、委員長の立場でそれぞれ皆さんの意見を聞いたうえで、方向付けをしていくということをご理解をいただきたい。

A. 副委員長(議長)

議員出前懇談会の中では、我々議会としても、皆さんの意見を今後しっかりと聞いて、その中で今後検討していくというかたちでの発言です。

Q.

「白紙で」と聞いたんですけれども、その白紙っていうのは、どういうおつもりで言ったのか、詳しく教えてほしい。

A. 副委員長(議長)

委員会の皆さんの意見が拮抗している状況の中で、どのように進めればよいか、皆さんの意見をしっかりと聞いて、再検討していく。

Q. [REDACTED]

建設予定地の判断材料について、投票で決定し、その後、匿名により優れている点の意見をもらったと認識したが、予定地の優れている面を聞いたのにもかかわらず、デメリットの対応策を考えてしまっている。この時点でデメリットの対策のみしか浮かばないのかと、愕然としている。デメリットの対応のみ必死に行い、莫大な人件費とお金と労力を使われたのではひどすぎる。臭いの問題、これもどのように解決するのか。また、他のメリットもデメリットの裏返しだと感じる。なぜそこに決定したのか、納得の理由を聞きたいのに、メリットですら話し合っただけで載せたのではない現状に絶望している。村長、議長はこの判断材料で良いと思っているのか。

A. 委員長(村長)

皆さんからの意見集約が不十分だったということは十分に認識をしておき、こういう機会の中でうかがった意見を建設委員会の中でしっかりと議論することが再検討に繋がる。その上で決定ができるように努めていくので、ご理解をいただきたい。

Q. [REDACTED]

最終的に建設委員会で決定と言うが、建設委員会は機能しているのか?相談、話し合いができる状況なのか?

A. 委員長(村長)

建設委員会の進め方については、それぞれの皆さんの意見を丁寧に聞いて、十分議論ができる建設委員会として、今後重要案件については時間をかけて方向付けをする。

Q. [REDACTED]

建設委員会で決定するのであれば、まず第三者として学識経験者や公平、公正に物事を考えられる人を入れること。ここで臭いの問題などを含めてしっかり検討し、検討したことは事細かに情報公開すること。

A. 委員長(村長)

建設委員会で十分に議論をさせていただきます。

Q. [REDACTED]

建設予定地の投票した数というのは建設委員会 28 名ということか?投票する前に、福島建築設計原案資料が各投票者に配布されたのか?

A. 事務局長

委員は 28 名。資料は配布されています。

Q. [REDACTED]

資料配布されている中で、運動公園に投票する方々の認識を疑う。単純に提案を見れば、鎌沢田んぼは必要面積以外全て4で非常に効果的な場所。運動公園に13名投票しているが、建設委員会の方々の認識がどれだけ一般常識と合っているのか非常に疑問。それと建物を建てた後のランニングコストについて、バス何が台必要になるのか？親に対する負担が非常に大きくなる。そこまで考えての結果ということか？

A. 委員長(村長)

様々な説明の中で委員さんが判断してくれた結果だが、すべてのメリット、デメリットを出し尽くした中での判断ではなかった。意見集約が不十分ということを冒頭に申し上げた。それぞれの意見をもっと精査し、今後の方向付けができるように再検討をさせていただく。

Q. [REDACTED]

持ち帰って検討すると言うのは何を検討するのか？用地の場所から全て一から検討するというのをここで約束してほしい。

A. 委員長(村長)

皆さんからいろいろな意見をうかがい、建設委員会の中できちんと整理し、議論をしていただき再検討するという。今回いろいろな意見が出ておりそれを加味し、委員さんの判断材料にさせていただき、どういう方法でやるか、方法についてもこれから委員会の中で相談していきたい。

Q. [REDACTED]

くどいようだが、建設予定についても再度洗い直しということによいか？

A. 委員長(村長)

場合によっては変わる可能性がないとは言えない。

Q. [REDACTED]

再度の投票は前回やった人と同じ人が投票するのか？もう少し広く意見を求められるよう、住民投票まではいかないけれども、ある程度の投票数、対象者の拡大を希望する。

A. 委員長(村長)

委員会の投票で決めるか否かも、これから委員会の中で決めていきたいと思う。「また同じようになるのではないか」という心配があるとすれば、他の方法が考えられるのではないか。委員会の中で議論を尽くして、方法について決めていきたい。

Q. [REDACTED]

昭和村は子どもにとっても住民にとってもすごくいい村。日常生活の中でも、サポート体制が素晴らしい。どこでどう変わったのかわからないが、学校を、人家がない、子ども110番がないような地域に持っていくのは非常に残念。いい昭和村のままで、前進を。

A. 委員長(村長)

子育て支援について、しっかりと前進をさせていきたい。また、多くの皆さんの理解が得られる

場所、学校を作れるように努めていく。

Q. [REDACTED]

昨日、総合グラウンド隣りに建設するメリット聞いたが理解できなかったので、また参加した。昨日の説明を踏まえ、聞きしたいことが3つある。まず、3日間の説明会で意見を聞いたと思うが、建設委員長は村民との温度差をどうとらえているか？

A. 委員長(村長)

様々いろいろなご意見をいただいた。私の意見はなかなか申し上げにくい。けれども、大変有意義な意見をいただいたので、建設委員会の進め方を大きく変えるよいきっかけになったと考えている。これを機に、建設委員会の皆さんと、より一層議論を深め、皆さん喜んでもらえる学校ができるように努めていきたい。

Q. [REDACTED]

そもそもこの会の目的っていうのが理解できない。経緯説明、意見交換というのは分かっている。この説明会を踏まえて決め直すこともあるかと思うが、この説明会を開く前の段階の決定について教えて欲しい。出前懇談会の時は、懇談会で出た意見について建設委員会を開いて協議し、この説明会で説明すると聞いたと思う。二転三転しているようなイメージがある。

A. 委員長(村長)

事務局からも説明させます。

A. 事務局長

統合小中学校を作るということは決定しています。ただ、その後については、建設委員会でもう一度皆さんのご意見を基に、進め方を含めて検討していくことになると思います。

Q. [REDACTED]

建設予定地については未定という捉え方で大丈夫か？

A. 委員長(村長)

建設予定地については冒頭に申し上げた通り、再検討するということ。

Q. [REDACTED]

昨日の説明会で、候補地の土地所有者への通知が11月に来たと言っていた方がいたが、通知しただけなのか、候補地すべての使用許諾を土地の所有者に取っているのか教えてほしい。

A. 事務局長

今回の資料を作る際、所有者の方に候補地の資料の提示より後に通知が来ると困ると考えたので、お知らせをさせていただいています。承諾したということではなく、あくまで候補地の線内に含まれた土地がありますという案内で、説明会についてお知らせをしています。

Q. [REDACTED]

許諾が取れてない7つの候補地の中のどれかに決まった際、所有者が手放したくないと言っ

た場合また難しくなる。候補地に挙げる段階で承諾の打診をしていないのか？

A. 事務局長

とれていません。

Q. [REDACTED]

そうすると、この中の7つで最終決定した場合に、その土地の所有者が明け渡したくないと言ったら、また問題になってしまう可能性があるということでしょうか？

A. 事務局長

はい、その通りです。

意見. [REDACTED]

承諾が取れていないのに資料に載せて、皆さんに配布するっていうのはまずいのではないのか。

Q. [REDACTED]

森下地内の候補地は田んぼということで、そもそも田んぼの上に学校やプールやといった大型の建築物が建てられるのか？安全性はどのようにお考えか？

A. 事務局長

田んぼ、畑は農地転用が必要です。土地については造成と土地改良を行えば、建物はもちろん立つと思っています。地盤調査していないので、設計をする段階になったら、地盤を調査することになります。

意見. [REDACTED]

地盤っていうのも田んぼということなので心配。話が進んでから地盤問題っていうことになるともったいない。地盤調査はむしろ先に調べておいた方がいいと思った。

Q. [REDACTED]

四日間の説明会の意見と用紙の意見を集約した後に、また説明会等をしていただけるのか？今後のスケジュールをどのように考えているのか？

A. 委員長(村長)

建設委員会の中で皆さんの意向意見を聞きながら、また、住民のいろいろな意見が集まってくるので、これをもとに開催するか否かは決めていきたい。個人的には、重要案件については、それぞれ皆さんのご意見を聞く機会が必要になると思っている。

Q. [REDACTED]

運動公園付近ではこんにやく等で使う土壌消毒があり、猛毒でかなりくさい。バス通学になっても、学校生活中に風で候補地に届くことがあるかと思う。他の消毒とかもあり、不安。土壌消毒は大人でも猛毒なので、子どもの呼吸や成長に障害が出てくる可能性が本当に心配。

A. 委員長(村長)

他の場所でも同様の意見を伺っている。そういった問題も含めて検討し、皆さんとよく相談して、場所について決められればと思う。

Q. [REDACTED]

何度も言っているが、村長は建設委員会から抜けるべき。村長は最終判断する立場であり、一票入れるのはおかしいし、話し合いに参加するものもおかしい。いろいろ調べたり、知り合いなどに聞いたが、村長が統合の委員に入っているというのではない。また、「再検討する」と言っているが、公園の横でなくなった時、今回の知らせを受けて喜んでいただいていた方たちの心のケアをどうするのか？私は南小学校の近くに住んでいるが、そうなったら大河原小に通わせている保護者にぬかよるこびをさせるような形になってしまうので、かわいそうだなと思う。どうするのか？

A. 委員長(村長)

直接建設に係わるところまで進んできたので、建設委員に入らせていただいた。その上で、委員さんの総意で「委員長を務めよ」ということで委員長を務めている。統合を決める前段までは、私が委員会に諮問をして、いろいろな関係者に検討してもらい、直接建設という段階になった。それから、一度決まった所について、建設委員会で決定はたけれど、建設委員会だけですべてを決定しきれないこともあり、万が一変更になったり、いろいろ様子が変わったりした場合、決まるまでの間、逐次説明をしながら、理解してもらえるように努めていきたい。

意見. [REDACTED]

もし本当に再検討して候補地が変わってしまったとしたら、大河原に通わせている保護者、子どもたちのためにお金を使ってほしいと思う。村長が建設委員に入っていることに関しては、学校のあり方検討委員会のときは、委員長が教育長だったから、同様に教育長が委員長でいいのではないかと思う。

Q. [REDACTED]

傍聴したことはないが、この件で今回とっても興味はあるので行かせてもらいたい。議会だよりには『傍聴席には限りがあり先着順です』と記載があるが、何席ぐらいあるのか？

A. 委員長(村長)

人数が多ければ広げることができる。多くの人がある場合には、事前に連絡をしていただければ準備が出来る。ぜひ、傍聴をしていただければ。

意見. [REDACTED]

席に限りがあると書いてあったので、一般質問のところだけ聞きたいが、9時半の開会から行かないと座れないのかなと思い質問した。

Q. [REDACTED]

昨日、先頭でお話させていただきました者です。昨日の訂正をお願いします。昨日、「委員会で決定する」という発言があったが、委員会で決定してはいけないと思う。最終決定は議会ではないか？訂正をお願いします。

A. 委員長(村長)

そのように伝わったのであれば訂正する。委員会としての決定をするという意味で申し述べたつもり。委員会としての決定をし、議会に上程をし、学校の設置条例を作っていただくという順番になっている。

意見. [REDACTED]

委員長は取りまとめの立場、意見を集約している。一票入れてはだめだと思う。自分の意見が入るので。私は [REDACTED]、親。昨日は一個人の立場で意見を述べた。今日は教育者としての立場を述べたい。全ての学校の意見を聞かなければ、自分も判断を下せない。最初、自分も合理的に考えれば森下だろうと思っていた。その後、大河原小、東小、南小、昭和中、すべての会に参加して、色々な方々の意見を聞き、少し自分の中で考えが変わってきた。大河原小である方が言っていた「誰も取り戻さない」という言葉が印象に残っている。自分も昭和の人間、昭和中に通って大河原小の子たちと一緒に学び、通学の話聞いて大変だなと思っていたのは強く印象に残っている。だから、大河原の親御さんたちは本当に必死であった。しかし、東小、南小に来れば反対意見になる。それは当然考えられること。昭和中が近くにあったよかったこと、2つの接骨院があり部活でケガをした際にすぐ寄れる。移転すれば地域産業に対して少しダメージがある。小学校は教育のインフラ、大事なポイントで地域経済に影響を及ぼすことを考えなければいけない。世間的に考えれば、下に建てるのが合理的。ただ、上の方々の意見を聞く中で、一個人の提案として、南・東。中学校は統合、大河原小学校は存続というのが、自分が出した結論。大河原小学校は小規模特認校で存続。

Q. [REDACTED]

小規模特認校をご存知か？

A. 委員長(村長)

詳細は存じ上げない。教育長から指導を受けたい。

A. 副委員長(議長)

これから勉強したい。

A. 教育長

自分から少し知っている限りのことを今申し上げてよろしいか？

小規模特認校という教育用語は大変専門的な言葉。まず昭和村で例えると、昭和村の各小学校は、それぞれの通学区域を持っており、それが指定され、小学校1年生に上がるときに教育委員会から連絡している。小規模特認校というのは、昭和村という自治体そのものが、ある学校を特別に指定地区以外からも通って構いませんよ、というシステム。南小学区や東小学区のお子さんと保護者が望み、行きたいという時には、例えば、大河原小学校に通学しても構わないという

システムになっている。当然、メリット・デメリットがあって、小学校の現在の児童数を増やすという場合には可能性が高まっていく。ただ、子どもたちは各地域に生活しており、離れた学校に行かれると、地元の子もたちとの関係性が若干薄くなってしまったりとか、通学に時間がかかるとか、様々なデメリットも出てくる。さらに、自治体として昭和村は子どもの絶対数少ない。大きな市のような自治体の中で特別な教育を行い、それを選択できるのであれば、大変効果があるシステムだなと思っている。

意見. [REDACTED]

小規模特認校が認められている学校、渋川市立伊香保小学校、文化的な伊香保という地域で学ぶというカリキュラムを組んでいる。渋川市立小野上小学校、自然豊かな場所でのびのび生活するというもの。最近で有名なものは黒保根学園、桐生市の黒保根学園。英語の教育に力を入れている。取り残さないのなら、こういう案も一つ、ぜひ考えてほしい。また、長野県の佐久穂町に行ったと思うが、ここも小中学校一貫校になった。しかし、私立の大日向小学校という小学校があるのをご存知か？

A. 委員長(村長)

存じ上げません。

意見. [REDACTED]

大日向学校は多様性を重視する『イエナプラン』、一人一人に寄り添う多様性を重視した取り組みをやっている。昨日、教育長が「中高一貫校はチャンスだ」と言っていたと思うが、私はそうは思わない。逆に自分の立場から考えれば、「移住者を増やしたい」、「人口を増やしたい」というところで、特色ある教育を進めていくことも一つなのではないかと思う。大河原の景観について聞いたり見たりする中で、こういうのもいいのかなど考えた。ちなみに大日向小学校は全校生徒が100人ぐらい増え、移住者100人ぐらい増えたというすごい小学校として今、いろんな取材がきている学校。小中一貫、義務教育学校で人は呼べないと思う。移住したいと思わない。もう当たり前だから。小中一貫校は、もはや市民権を得ている。移住者を呼び込むといった目玉な学校を作るということは、東京ののびのび生活したいと思っている方々にとって非常に有意義なのではないかと考える。その中で、大河原小に予算を割くべき、大河原地区の方々に予算を割くべきだと思う。そのためには、下の段の人たちは少し、痛みを伴うのも必要。大河原小学校はプログラミング教育の指定校を受けたのはご存知か？

A. 委員長(村長)

はい、承知しています。

意見. [REDACTED]

そういった土壌があるというのは、すごくいいなと思う。それも一つの意見として、プログラミング教育、英語教育を充実させるというのは非常に有益で移住者を呼ぶ目玉としては有効と思う。昭和村も他と同じように義務教育学校をしても移住者は来ないと思う。個人の考えとしては、総合グラウンドに行ったら移住者呼び込めない。教育のインフラ、交通のインフラが整ってないところ

に家は建てない。安心安全、交通の利便性そういったところが重要視されると思う。その点を踏まえた上で、大河原小に予算を割くべき。目玉にはなる。関東の初というプランもあるのかなと思う。

A. 委員長(村長)

色々と研究してみたい。大河原小学校も、色々な意見を聞かせてもらえる機会も作っており、今後もそういった機会をできるだけ作って、特色ある学校が作れればと考えている。

意見. [REDACTED]

知らないことが多かったということは、まだいろいろなチャンスがあるということ。まだまだ可能性はあるので、それを探るのだったら、令和9年に建てるのは、私は反対。もっと時間をかけてやるべきだ。

A. 委員長(村長)

令和9年に仕上げようとは、そもそも思っていない。建設委員会を作る段階での一つの案としてスケジュールを立てたものであって、あくまでも予定。これからはしっかり時間をかけ、皆さんのご意見に添えるような学校が作れればと思っている。

意見. [REDACTED]

ぜひ、意見を聞いてほしい。教育者として『誰も取り残さない』というのは、本当にその通り。村長、なんとかして子どもたちの安心安全を担保する、そこだけは守ってください。

意見. [REDACTED]

個人的に [REDACTED] 統合される学校は通学とか一切関係ないという状況。でも、場所としては鎌沢田んぼが一番いいと考えている。やはり学校は学ぶ中心にあって、人が集まりやすい所、行きやすい所。今はコミュニティ・スクール化ということが進められているので、それも加味して、地域住民が行きやすいところがいいと考える。鎌沢田んぼは交通量が多いからコンビニが建ったところ、みんなが行きやすいところなのかなと考える。鎌沢田んぼに学校を建てるとなったとき、仮に体育館が足りないといった状況でも、昭和中、南小、社会体育館が近くにあると利用しやすい。グラウンドについても同じ。そういったことを考えても、一番いいのが鎌沢田んぼなのかなと思っている。

○その他：20:34～ アンケートの提出依頼、封筒に係る説明(事務局長)

○閉会：20:36～ 建設委員会福委員長(片柳議長)よりあいさつ

終了 ~20:37